

「松尾地域賑わい空間創出研究会」が始まりました！

■ まつ研とは・・・

- 「まつ研」とは「松尾地域賑わい空間創出研究会」の略です
- 松尾地域の賑わいづくりや松尾庁舎跡地の活用方法等について議論していただき、市の具体的な施策づくりのための意見やアイデアを頂戴するため、山武市が設置しました
- いつでもどなたでも参加可能な場で、“結論を出す”ことよりも“議論すること”を重視する会議です
- 模造紙や付せんを使いながら参加者自らが「考える→書く→話す→聴く」に取り組む場（ワークショップ）のことです

9月11日に第1回目を開催！

日曜日にもかかわらず、松尾地域にお住まいの方を中心に37名の方が参加され、松尾地域の賑わいづくりについて活発な議論が行われました。開催結果の概要は次のとおりです。

＜ まつ研の進め方 ＞

第1回 【H23年9月11日】
松尾地域の“賑わい”を考える
※本通信にてご報告

第2回 【H23年10月1日】
松尾地域の賑わいづくりの具体策を絞り込む

第3～4回【H23年10～11月】
松尾地域の賑わいづくり、跡地活用の具体策を考える

第5～6回【H24年1～2月】
跡地活用計画(案)をもとに、次年度以降の取組を考える

第1回研究会開催概要

日時：平成23年9月11日 16:00～18:00
場所：松尾ふれあい館 農事研修室

第1回研究会では、山武市から松尾地域の現状や賑わいづくりに関する取組について説明が行われた後、“松尾地域の賑わいとは？”をテーマに参加者どうして議論しました。

具体的には、

「松尾地域の賑わい」と聞いて、思い出す取組や場所とは？」

「松尾地域には無いけど、あったらよい賑わい」とは？」

などについて議論し、合併前の取組みや今も続いているお祭やイベントから、農産物や食のPR・販売、スポーツ・娯楽など、多岐にわたる意見やアイデアが出されました。



第1回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 研究会趣旨、本日の進め方などについて説明 [山武市より]
3. グループ毎の話し合い (自己紹介、テーマの話し合い)
4. グループ毎の発表
5. 閉会のあいさつ



第1回研究会で出された主な意見

“松尾地域の賑わい”と聞いて、思い出す取組や場所

“松尾地域には無いけど、あったらよい賑わい”

グループA

コミュニティ

- ・盆踊り(カラオケ大会等)、産業まつり
- ・大平盆踊り
- ・浅間神社
- ・末廣神社(道灌様)の例大祭(駅前から道灌様までの出店など)
- ・寿地区の御祭
- ・駅前の祭りを区の主催でやる

食べ物

- ・東京からヒトを呼ぶ(そばを食べに来ている)

農産物

- ・農産物(地元生産品)のPR

出張所機能

- ・行政機能の存続(証明書、戸籍謄本、住民票 etc)
- ・コミセンに於て
- ・銀行ATMの設置

高校生

- ・若者を含めて活性化
- ・テナント可
- ・クラブ活動
- ・安心して高校生が休める場所、歩ける場所(電車待ちの間など)

防犯

- ・松尾駅辺りで犯罪が増えている
- ・夜を明るく
- ・無人駅になる時間帯がある

コミュニティ・学習

- ・阿波踊り、よさこい祭りなど(ヒトを呼ぶ)
- ・高齢者への配慮(気軽に集まれる場所)
- ・あらゆる年代の人達が集まる施設
- ・若者のギター練習場所
- ・図書館、喫茶店
- ・ギャラリー(駅前)
- ・公民館的な場所(コミュニティ施設など洗心館の代わりになるもの)

複合施設

- ・松尾役場跡地を中心として複合的施設を考える

商業

- ・地産地消

スポーツ

- ・老人にも配慮(マッサージ等の健康的運動、柔軟性もちいた運動)
- ・トレーニング施設(室内)
- ・スポーツ施設(若者から高齢者まで)※指導はボランティアでやってもらう

道の駅

- ・道の駅の●商業店
- ・マーケット
- ・駅前の活性化

その他

- ・建物でヒトを呼べるのか、慎重に考えるべき(ITセンターもある)
- ・ITセンターの駐車場は反対

グループB

祭り

- ・地区の祭り(各神社の祭事、盆踊り)
- ・20年前の、地区の夏祭り
- ・産業まつり
- ・後継者がいない(みこしのかつぎ手がない)
- ・松尾町は余り賑わっていない

上映会

- ・小学校校庭での映画上映
- ・運動公園での上映会

朝市

- ・松尾の朝市
- ・すいかまつり
- ・成東の朝市(フリーマーケットも開催)

神社・仏閣(松尾の資源)

- ・浅間様[大祭](ピーク時1万人、最近では4500人程度)

その他

- ・コンビニに集まる高校生
- ・初日の出
- ・小学校の運動会

道の駅

- ・子供遊園地付き道の駅
- ・道の駅のようなもの

特産品

- ・巻き寿司が人気
- ・地域の物産資料の展示
- ・アンテナショップ

歴史

- ・歴史を上手く利用した施設

祭り

- ・産業祭

スポーツ

- ・トレーニングジム

その他

- ・娯楽施設(かつては映画館があった)
- ・駅と連携した(つながりをもった)もの
- ・新規就農者の機械を車庫に置いて、使えるように

グループC

祭り

- ・祭り(7月末に開催)
- ・町民大会
- ・子供みこし(駅前、年1回開催)
- ・盆踊り(地区毎に開催していたが、現在は開催していない)
- ・浅間様(夏に1回開催、市外からも人が来る)

農産物

- ・いちごの直売所がある

スポーツ

- ・松尾町当時の秋の町民体育祭
- ・各種スポーツ大会(体育祭、駅伝大会、町民野球 etc)

その他

- ・“一年を通して楽しいこと”がない
- ・地区内での賑わい(外部から呼び込むというところではない)

まちの駅

- ・まちの駅、そらの駅(地域の情報提供、物品販売、農産物の直売所)
- ・松尾区内で気楽に集まれる場所(マーケット、史料館)
- ・特産品(内外のもの)
- ・道の駅は規模的に難しい
- ・R126号沿いには集客施設は少ない

スポーツ施設

- ・山武地区、蓮沼地区にあるようなスポーツトレーニング施設
- ・健康ランド
- ・旧松尾地区住民が自由に使える体育館(例:蓮沼スポーツプラザ)
- ・小中学校の体育館

文化活動

- ・文化系のもの(洗心館)

第1回研究会 意見のまとめ

“松尾地域の賑わい”と聞いて、思い出す取組や場所”

- ・昔から行われている道灌様・浅間様のお祭りや、地区毎に行われていた盆踊り等の様々なお祭り
- ・体育祭や駅伝大会等のスポーツ大会や、小学校・運動公園での映画の上映会

“松尾地域には無いけど、あったらよい賑わい”

- ・道の駅のような特産品の販売や地域の情報提供をするところ
- ・あらゆる年代の人が気軽に集まれる場所や、住民が自由に使える体育館・スポーツ施設など
- ・地域の物産資料や史料の展示等による賑わい

問合せ先 山武市総務部企画政策課

TEL: 0475-80-1131 / FAX: 0475-82-2107

「第2回松尾地域賑わい空間創出研究会」を開催しました！

「松尾地域の“賑わい”」について議論した第1回研究会に引き続き、今回は「松尾地域の賑わいづくり」について、この場所に必要な賑わいをつくるためのアイデアの絞り込みを行いました。

新たな参加者もお迎えし、計32名の参加者で活発な議論が行われました。開催結果の概要は次のとおりです。



＜まつ研の進め方＞

第1回 【H23年9月11日】
松尾地域の“賑わい”を考える。

第2回 【H23年10月1日】
賑わいづくりのアイデアを絞り込む。
※本通信にて報告

第3回 【H23年10月23日開催】
跡地に計画する施設の機能と施設配置について議論する。

第4回 【H23年11月予定】
松尾地域の賑わいづくり、跡地活用の具体策を考える。

第5～6回 【H24年1～2月予定】
跡地活用計画(案)をもとに、次年度以降の取組を考える。

第2回研究会開催概要

日時：平成23年10月1日 16:05～18:00
場所：松尾 | T保健福祉センター 多目的室

テーマ：「第1回で出されたアイデアの優先度を考える」

第2回研究会では、第1回研究会成果を振り返り、「第1回で出されたアイデアの優先度を考える」として、下記のような議論をしました。

- 第1回研究会で出された松尾の賑わいづくりのアイデアについて、「重要性（高・低）」と「効果（大・小）」の視点から優先度を検討しました。
- 優先度を考えた後で、「庁舎跡地で実施すべきものは何か？」ということに視点をおいて、“跡地でなくてもよいもの”を分別しました。

今回も賑わい空間実現のための有意義な意見交換ができました。

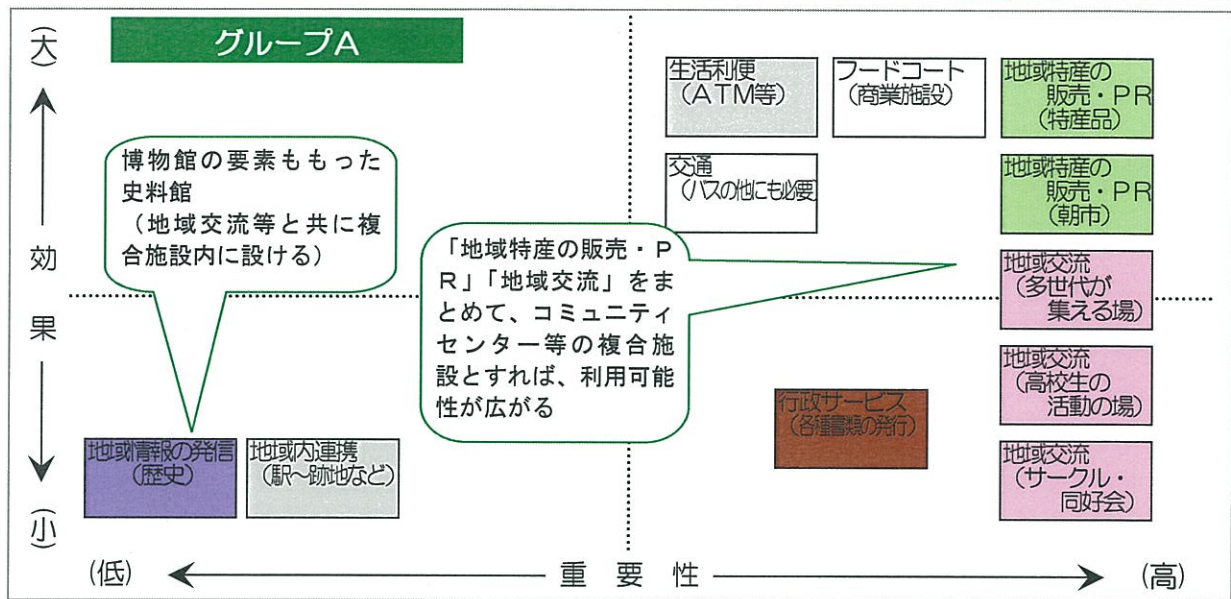
第2回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 第1回の振り返り
本日の進め方の説明
3. グループ毎の話し合い
・ 前回成果について一言
・ テーマの話し合い
4. グループ毎の発表
5. 閉会のあいさつ

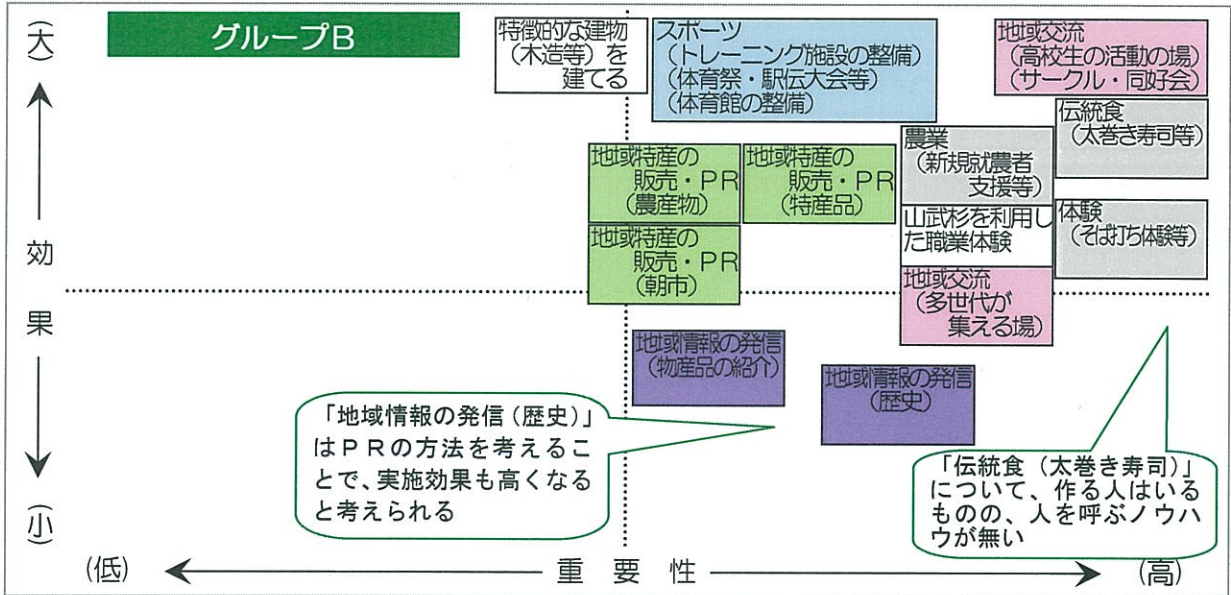
◆アイデアの優先度を検討した結果◆ ※各班の検討結果は裏面をご覧ください⇒

- ・ 「地域特産の販売・PR」、「祭り（例大祭、盆踊り、子供みこし）」をこの場所ですることができれば、重要性も高く、賑わいづくりの効果も高いと考えられる。
- ・ 「地域交流（他世代間、サークル活動、学生の活動）」も重要な機能である。
- ・ 「スポーツ（トレーニング施設の整備）」「伝統食（太巻き寿司等）」「体験（そば打ち体験等）」は、賑わいづくりの効果としては高いと考えられている。

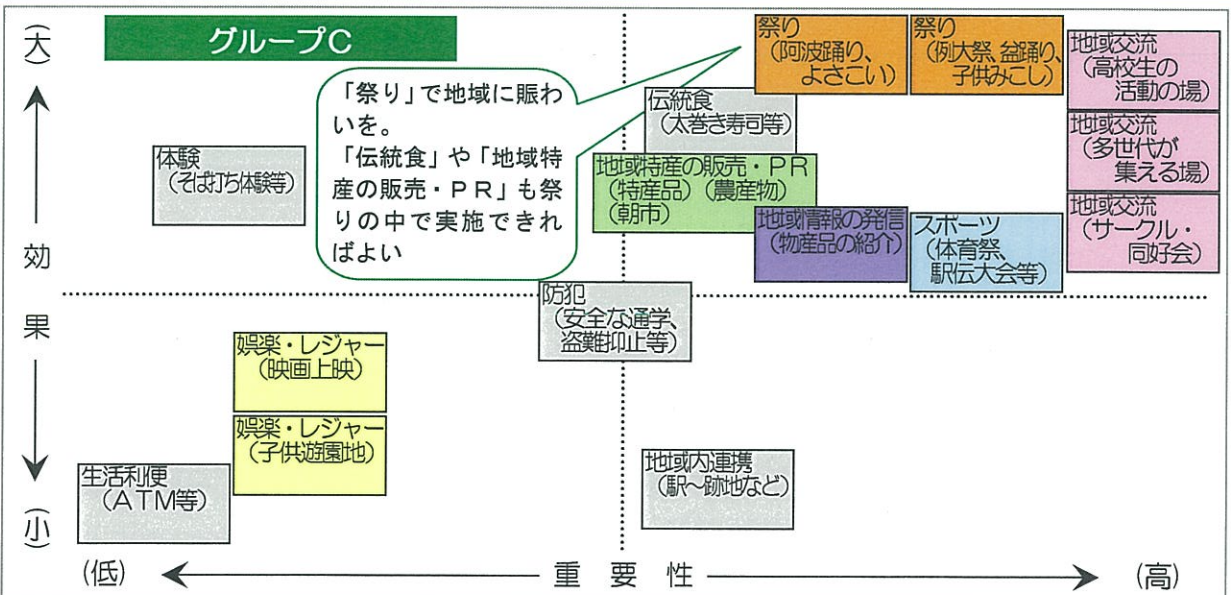
「賑わいづくりのアイデアについて優先度を各組で検討しました」



松尾の中心であったここに、少しでもいいから行政機能は残してほしい。
コミュニティ施設や物産販売等の複合的な施設が可能性を広げる。



全体として、「多世代が集える場」、「地域の人でも外部の人でも参加できるもの」が、キーワードとして検討された。



全体として、世代間の交流を大事にすることを考えて選定した。
このグループでは、祭りにより賑わいを作りたいという意見となった。

「第3回松尾地域賑わい空間創出研究会」を開催しました！

今回はまず、松尾IT保健福祉センター内を見学し、皆で機能を確認しました。その後、跡地につめこむ機能や、松尾地域の特産物について具体的に考えました。

計28名の参加者によって活発な議論がなされ、内容の濃い研究会となりました。開催概要は以下のとおりです。



＜まつ研の進め方＞

第1回 【H23年9月11日】
松尾地域の“賑わい”を考える。

第2回 【H23年10月1日】
賑わいづくりのアイデアを絞り込む。

第3回 【H23年10月23日】
跡地につめこむ施設機能を具体化する。

※本通信にて報告

第4回 【H23年12月11日】
専門家の講義を聞き、跡地で実現する事柄の確認と課題の整理をする。

第5～6回 【H24年1～2月予定】
跡地活用計画(案)をもとに、次年度以降の取組を考える。

第3回研究会開催概要

日時：平成23年10月23日 13:30～16:00
場所：松尾IT保健福祉センター 多目的室

第3回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 松尾IT保健福祉センターの見学
3. テーマについてグループ毎の話し合い
4. グループ毎の発表
5. 閉会のあいさつ



テーマ：「跡地につめこむ施設機能を具体化する」

第3回研究会では、これまでの検討結果をもとに、跡地に計画する施設に持たせる機能について、次のようにできる限り具体的に検討しました。

- 跡地に計画する施設に“人が集まってくる目的”を、「みる」「食べる」「かう（うる）」「する」の視点から、より具体的に考えました。
- 人が集まってくる目的について考えたうえで、「それらは誰が実現するのか」「特産品とは具体的にどんなものがあるのか」について議論しました。

様々な議論がされましたが、“地域でつくられたものを地域で消化・販売する”というような、農商工連携による経済活動に関するものがその中心となりました。

～第3回研究会の検討結果～

- 今回の検討結果は、「発表・展示」「物品販売」「教室・講座」「飲食」の4つのカテゴリーに分けられます。
- 飲食や物産販売は、地域で作られている農産物やその加工品に関する意見が多くあがり、それらを用いた料理教室の案も出ました。また、駅前の商店街が合同出店したら良いのではないかと、という意見もありました。
- 地域の人による作品展示や活動発表に関する意見も出され、その中には、地元の高校生のお菓子作りコンテスト、といった楽しいアイデアもありました。
- 各アイデアの実践者（担い手）については、松尾地域内に有用な人材がいるという意見が多く出され、アイデアがより具現化されました。
- 跡地に新しくつくる施設は、夜遅くまで使用できるようにしてほしい、という意見もあがりました。

《人が集まってくる目的について具体的に考えました》

グループA

発表・展示

- ・ 学生のプラスバンド演奏
- ・ コンサート [クラシック、ロック]
- ・ 相撲大会
- ・ 地元の商店のアピール
- ・ 神楽
- ・ 昔話や戦争体験を語ってもらう

物品販売

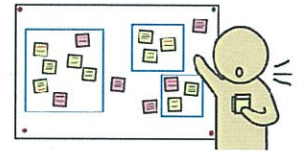
- ・ 果物 [ブルーベリー、いちじく、ゆず、柿] やその加工品
- ・ 味噌
- ・ 梅干
- ・ うりのお新香
- ・ いわし醤油
- ・ 農産物
- ・ 特産品

教室・講座

- ・ イチゴジャム作り (→販売)
- ・ 昔のお菓子作り (→販売)
- ・ 竹や木などの工芸品作り (→販売)
- ・ 庭木の手入れ方法
- ・ お菓子作りコンテスト (→製品化・販売)

飲食

- ・ 地元の人が提供する食堂



グループB

教室・講座

- ・ 育児サークル
- ・ ヨガ、ストレッチを教える
- ・ 太巻き寿司作り
- ・ 蕎麦打ち
- ・ 米粉料理の教室
- ・ 帳簿付け講座
- ・ トレーニングジムで健康管理

物品販売

- ・ デリカテッセン
- ・ 太巻き寿司
- ・ チャレンジショップ
- ・ 棚ショップ [小玉すいか、やまといも、みかん、ねぎ、とうもろこし、そら豆、大根、白菜、米、ピーナツ、花]

飲食

- ・ ワンデーシェフのレストラン [地産地消、蕎麦]
- ・ 駅前商店の合同ショップ [あげもの、そば、肉、すし、ラーメン、パン]
- ・ インターネットカフェ (軽食コーナーつき)

発表・展示

- ・ 松尾の歴史資料展示
- ・ 映画上映会

その他

- ・ マッサージ
- ・ プール
- ・ 使用しなくなった農機具の保管と貸し出し

グループC

発表・展示

- ・ 作品展 [学生の作品、洗心館利用団体の活動作品、趣味で作った作品]
- ・ 太田道灌公の史料展
- ・ 町内の物産展示
- ・ 酒蔵の製造過程をパネル展示
- ・ 野外映画鑑賞

飲食

- ・ 軽食
- ・ 飯物
- ・ コーヒー
- ・ フードコート (テナントを募る)
- ・ 気軽に集まってコーヒーを飲みながら談話する

教室・講座

- ・ 太巻き寿司の作り方
- ・ 筋力トレーニング指導 (指導者を育てる)
- ・ 自ら学んで得た知識や技術を紹介する

物品販売

- ・ 農産物
- ・ 日用品 [衣類]
- ・ 地酒の販売

その他

- ・ 野外ステージをつくる (お祭り、地域特産の販売・PR、催事、踊る場所)
- ・ イベント広場
- ・ 子供と遊ぶ

◆松尾IT保健福祉センター見学の様子◆

～参加者の声～

- ・ とても立派な施設
- ・ 部屋数が多い
- ・ 各部屋の用途の見直しが必要では？
- ・ 使っていない部屋は自由に使えるようにしてほしい



問合せ先

山武市総務部企画政策課

TEL : 0475-80-1131

FAX : 0475-82-2107

「第4回松尾地域賑わい空間創出研究会」を開催しました！

第4回のまつ研では、北星学園大学客員教授の秋山哲男先生から松尾出張所跡地を活用した賑わいを創出する地域づくりの考え方について講義をしていただきました。



他地域での事例を示していただきながら、地域づくりについて、どのような点に気をつければよいかを学びました。

特に、「役に立つ」というキーワードから、これから計画する施設が松尾地域のみならず市全体、さらには社会に役立つものであること、また、松尾地域に「役に立つ」人材を育てることが大事であるということを知りました。

この講義から得られた新たな視点も参考にしながら、「食」と「健康と文化」の2つのコンセプトで、跡地に必要な機能とその効果について、参加者26名により活発な意見交換を行いました。今後策定する施設計画（案）につながる有意義な研究会となりました。

＜まつ研の進め方＞

第1回 【H23年9月11日】
松尾地域の“賑わい”を考える。

第2回 【H23年10月1日】
賑わいづくりのアイデアを絞り込む。

第3回 【H23年10月23日】
跡地につめこむ施設機能を具体化する。

第4回 【H23年12月11日】
専門家の講義を聞き、跡地で実現する事柄の確認と課題の整理をする。 ※本通信にて報告

第5回 【H24年1月21日】
参考施設を訪問し、施設イメージを膨らませる。

第6回 【H24年2月26日】(予定)
跡地の活用イメージを具体化するとともに、跡地利用計画（案）を検討する。

第7回 【H24年3月17日】(予定)
取りまとめた跡地利用計画（案）を基に、今後の取り組みについて検討する。

第4回研究会開催概要

日時：平成23年12月11日 13:30～16:00
場所：松尾 | T保健福祉センター

テーマ：「今まで検討した内容を1つのコンセプトに整理する」

第4回研究会では、第1回～第3回の研究会で出された多くのアイデアについて整理することにしました。

今までの研究会での話し合いから、「食」と「健康と文化」の2つのコンセプトを取り上げ、それぞれ跡地をどのように利用すべきかを話し合いました。

●グループ討議では

「食」と「健康と文化」の2つのコンセプトから、跡地に必要な機能とその効果について検討しました。

●専門家による講義では

松尾地域の地域づくりにあたり、計画の考え方やコミュニティビジネスなどについて、事例を通じて広く話題提供がなされました。

第4回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 専門家による講義
3. テーマについてグループ毎の話し合い
4. グループ毎の発表
5. 閉会のあいさつ



《コンセプトに基づき、必要な機能について考えました》

コンセプト①：山武市の素材を用いた食の拠点施設

グループA

【たべる】⇒食べ物を提供する
 ・創作料理メニューコンテスト
 ・レストラン ・屋台村

【する】⇒体験教室を通じて製品を生産する
 ・食品加工体験教室 ・農業体験
 ・田舎暮らし体験 ・わらじ作り体験

【つくる】⇒加工食品をつくる
 ・太巻き寿司、おしんこ
 ・伝統菓子、米菓 ・新しい製品の開発

【うる】⇒地域の商店と協力する
 ・出前
 ・地元商店の衰退の防止

グループB

【たべる】⇒配達サービスの拠点にする
 ・会社等へ弁当の配達
 ・独居老人へ給食の配達サービス

【する】⇒農業体験を中心に活性化する
 ・農業体験の実施 ・体験用農機具の収集
 ・宿泊施設を設ける

【つくる】⇒松尾の食材を提供する
 ・松尾で生産しているものを使用して、提供する

【うる】⇒松尾の農産物を販売する
 ・農産物の直売所を設ける
 ・松尾の農産物を改良して売る

コンセプト②：健康と文化の拠点施設

グループC

【見る】⇒美術品や史料を鑑賞する
 ・散在している史料 ・アート
 ・個人の作品

【学ぶ】⇒ビジネスの拠点にする
 ・雇用創出、オフィス機能の完備
 ・パソコン教室の開催

【動く】⇒トレーニングの場とする
 ・トレーニング設備の完備
 ・リタイヤしたトレーナーの再雇用

【集まる】⇒高齢者や子どもの集う場とする
 ・送迎場所の整備 ・高齢者の交流の場
 ・子どもが遊べる場

～第4回研究会の検討結果のまとめ～

- ・跡地には、山武市（地元）でつくられる素材を提供する場として活用することが必要
- ・「食」は、施設のコンセプトによらず必要なテーマとして考えられる（カフェ、レストラン等は必要）
- ・跡地を「体験」、「学ぶ」ための施設として位置付け、地元産品や昔ながらのモノ、コトなど、松尾地域の特色や伝統を通じ地域が交流できる場とするだけでなく、地域外からも人が訪れる場として活用することが必要
- ・人を集めるアイデアに対し、誰がどのように行っていくべきかという点を明確にすることが必要

～今後の展開として～

これまでの研究会で示されたキーワード【「食」、「加工、販売」、「直販所」、「地元食材」、「交流」、「学び」、「農業」、「健康」】から松尾地域の賑わいを創り出す跡地の活用イメージを具体化します。

その跡地の活用イメージでは、地域の人を楽しめる場所とすることが重要であり、地域の人が集まってくる場所にならないと地域外の人には集まってこないという観点から検討を行います。

問合せ先 山武市総務部企画政策課 TEL：0475-80-1131 / FAX：0475-82-2107